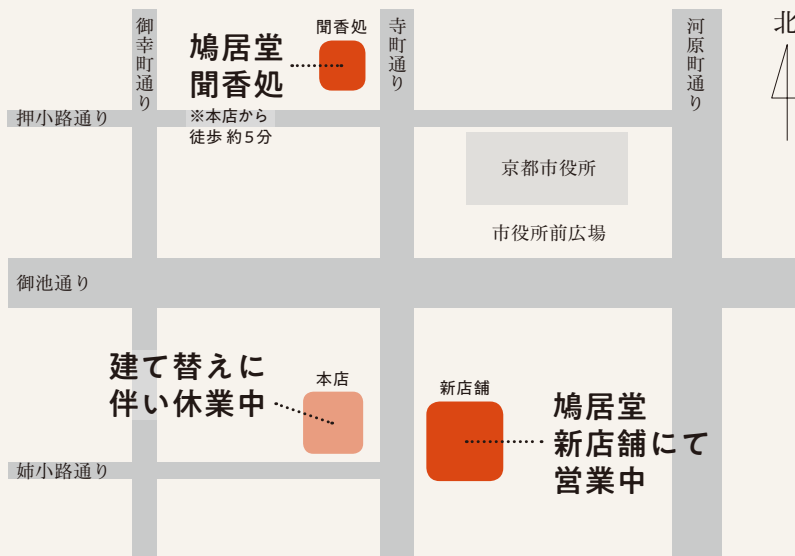


# 京都鳩居堂 本店

## 改修工事・新店舗営業のご案内

京都鳩居堂 本店は、社屋の建て替えに伴い、  
建て替え期間中は本店の向かいに設けました新しい店舗にて、  
営業をさせていただきます。  
建て替え期間中は、大変ご不便をお掛けいたしますが、  
引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



京都鳩居堂 本店は、1663年(寛文3年)に熊谷直実(1141年～1207年 平安時代～鎌倉時代の武士)から数えて20代目の熊谷直心(じきしん)が、京都寺町の本能寺の門前にて、商ったのがはじまりです。創業して356年のあいだ、今と変わらない場所で、社屋は何度か建て直しをしまいましたが、屋根のてっぺんにある「瓦師 甚兵衛 天保四年八月彫」と記された向い鳩の鬼瓦は、江戸時代から今の社屋にまで受け継がれてきました。また新しい社屋におきましても、この鬼瓦がこれからの100年、また新たな景色をこの京都寺町に刻み、受け継いでいくことができればと思っております。鳩居堂の店づくりは、心安らぐ香りに包まれて、日本の美しい四季を感じる空間、和紙のぬくもりに触れながら、あの人のことを想うひとときや、見ただけで楽しくなったり、心が安らいだりと、国や世代を超えた幅広いお客様がくつろいで楽しくお買い物ができる雰囲気づくりをすることが、根底にあります。じっくりと時間をかけて、地域の人々に愛される店づくりを目指してまいります。2020年に新しく生まれ変わる社屋にご期待くださいませ。

12代目 店主



明治41年(1908年)頃



大正3年(1914年)3月1日



平成31年(2019年)現在